

共聴／ケーブル地域における  
ワンセグのあり方に関するアンケート調査結果概要(案)  
(北陸3県地方公共団体、一般視聴者)

---

平成19年12月

共聴／ケーブル地域におけるワンセグのあり方に関する検討会

総務省 北陸総合通信局

## 目次

(ページ)

1	情報の伝達手段と提供したい情報について(地方公共団体)	-----	2
2	災害時に電波が受信できない地域への対応について(地方公共団体)	-----	3
3	観光地が電波を受信できるようにする必要性について(地方公共団体)	-----	4
4	地上デジタル放送の電波がケーブルテレビの加入に影響することについて (地方公共団体)	---	5
5	移動受信が可能なテレビ受信機の所有と購入予定について(一般視聴者)	-----	6
6	ワンセグ独自番組の認知度と視聴希望について(一般視聴者)	-----	7
7	災害情報の入手方法と必要な情報ジャンルについて(一般視聴者)	-----	8
8	電波で地上デジタル放送が受信できない地域へのイメージについて (一般視聴者)	-----	9

## 共聴／ケーブル地域におけるワンセグのあり方に関するアンケート結果－概要

地方公共団体では、地上デジタル放送が電波で受信できない「共聴／ケーブル地域」において、電波での視聴を可能にする必要性の調査、また、どのような情報を提供したいかを各地方公共団体を対象に調査した。

また、一般視聴者に対しては、移動受信が可能なデジタル受信機の普及に関する調査、ワンセグ独自番組の要望、災害情報の入手方法、必要とする情報、電波が受信できない地域のイメージ等を調査した。

### 1. 調査概要

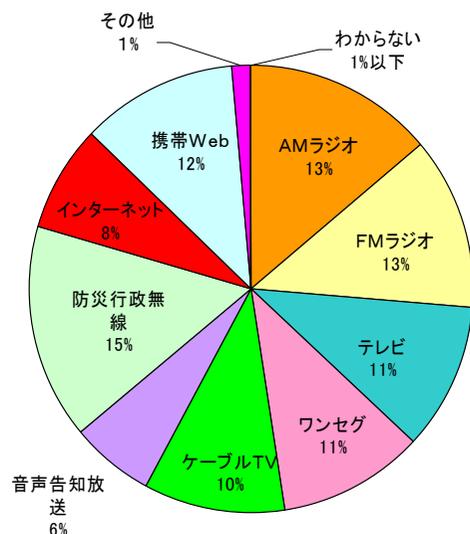
- (1) 対象地域 北陸3県
- (2) 対象 各地方公共団体及び一般視聴者
- (3) 調査期間 平成19年9月22日～11月7日
- (4) 有効サンプル数 53団体、一般1638件

## (1)情報の伝達手段と地方公共団体の提供したい情報について(地方公共団体)

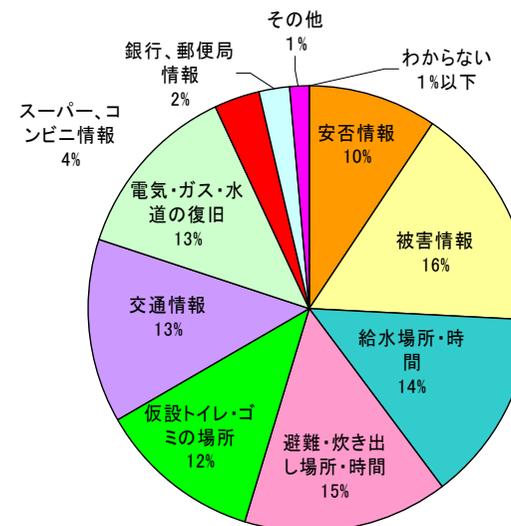
災害情報の伝達手段として「防災行政無線」が有効であるとの回答が多い。福井県が他の2県より回答が多いのが特徴的。次に多いのは「AMラジオ」「FMラジオ」など従来からのメディアで3県共通して多い。「ワンセグ」「携帯電話のWebサービス」など新しい情報手段も期待されている。

一方、提供したい情報として、「被害情報」「避難場所・炊き出しの場所・時間」の要望や「給水場所・時間」「交通情報」「電気・ガス・水道の復旧の見込み」「仮設トイレ・ゴミステーションの場所」が多い。「交通情報」は石川県、福井県の回答が富山県に比べて多く、地形条件などが考慮された結果と推測できる。「安否情報」の回答が少ないのは、個人情報のあり方などと関連があると推測できる。

### 伝達手段



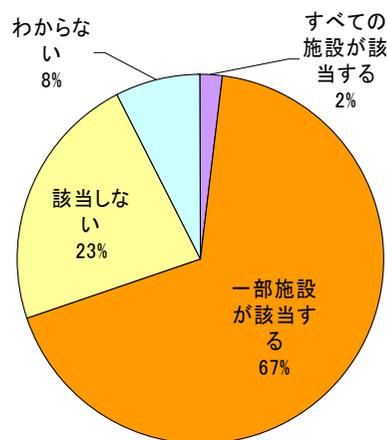
### 提供したい情報



## (2) 災害時に電波が受信できない地域への対応について(地方公共団体)

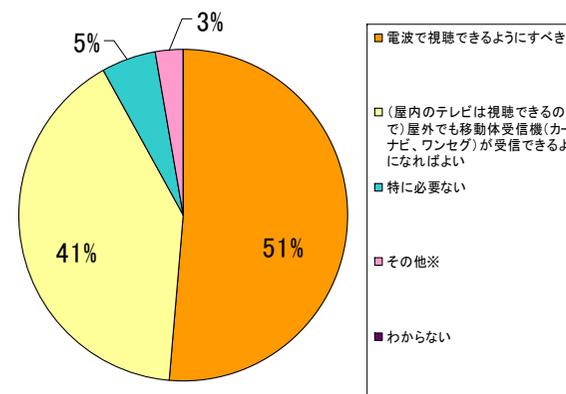
避難場所・仮設住宅の設置予定場所が、電波を受信できない地域に該当する地方公共団体は、約70%ある。その中で、「電波で視聴できるようにすべき」の回答が石川県、福井県に多く、「移動体受信機(カーナビ・ワンセグ)で受信できればよい」と回答したのは富山県に多い。富山県のようにCATV網が全県で充実している地域は、「1セグ放送でよい」の回答が多い。たぶん避難場所や仮設住宅の候補地にもCATV回線が充足しているが、大規模な災害において有線が切断された場合の補助的との考え方と推測される。

設置場所

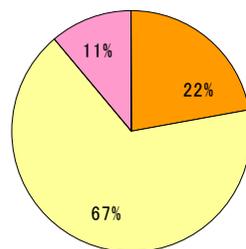


方法についての考え方

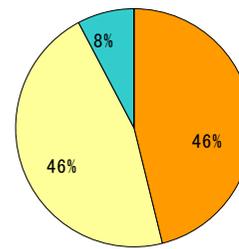
13セグか1セグかの選択



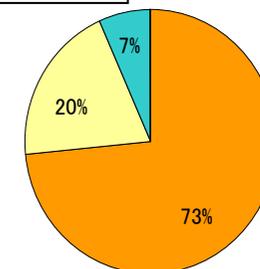
富山県



石川県



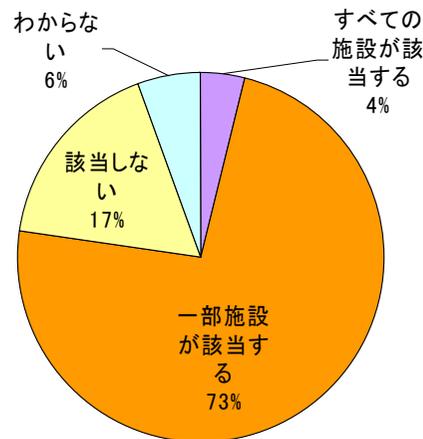
福井県



### (3) 観光地が電波を受信できるようにする必要性について(地方公共団体)

「電波で地上デジタル放送が受信できない観光地が当該地域にある」と回答のあった41団体から回答を得た。「電波で視聴できるようにすべき」は20団体で福井県の団体からの回答が多い。「移動体受信機で受信できればよい」16団体で、石川県の団体からの回答が多い。「特に必要ない」は、富山県2団体、石川県、福井県それぞれ1団体から回答があった。

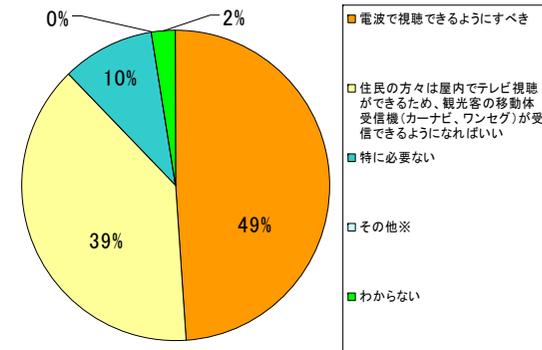
電波が受信できない観光地



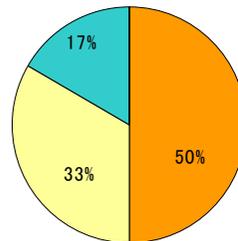
どのような対応が必要か

(全体)

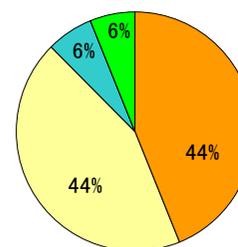
電波が受信出来ない観光地を持つ団体からの回答



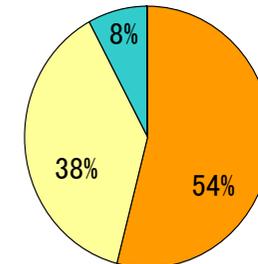
富山県



石川県

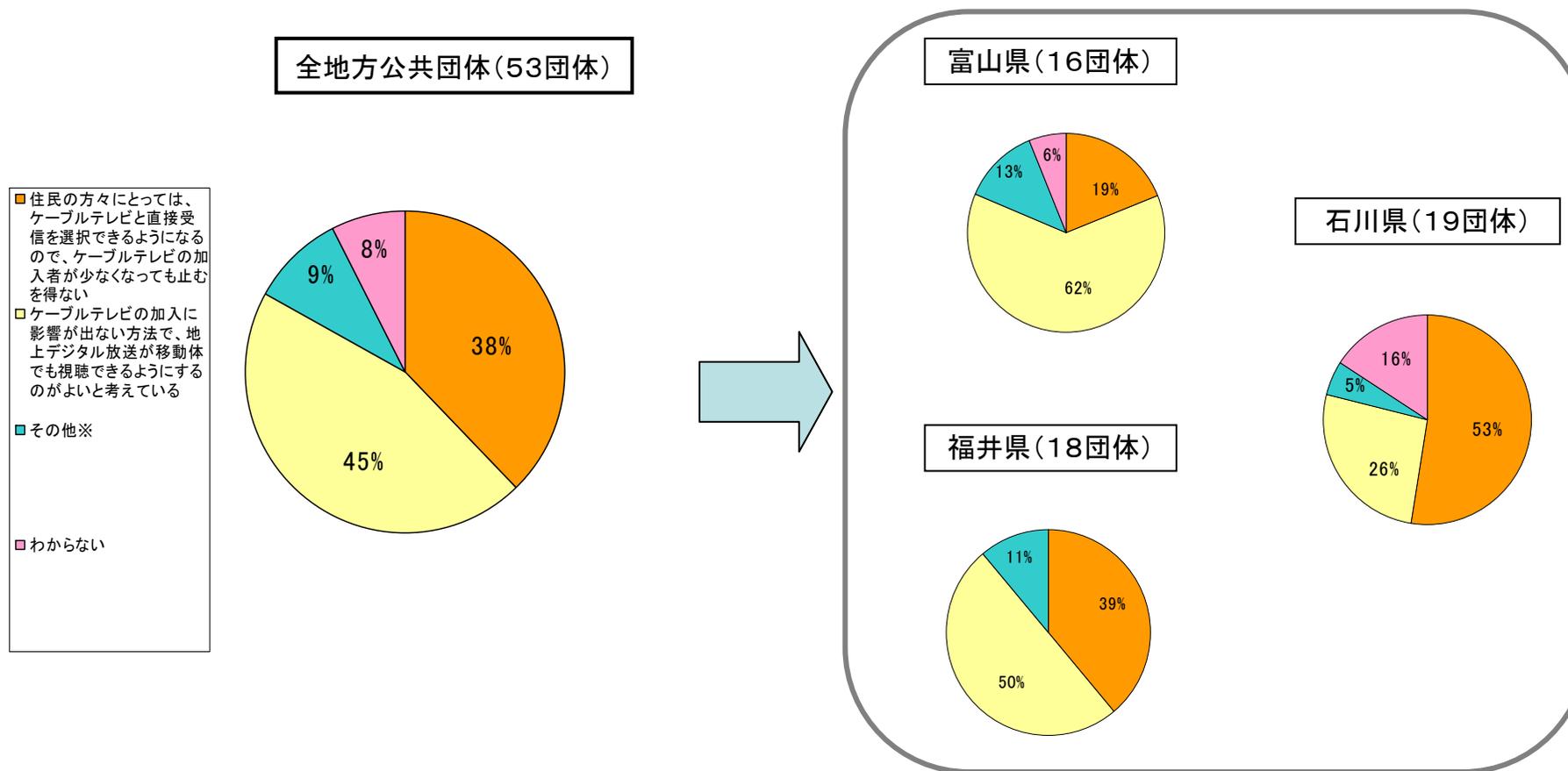


福井県



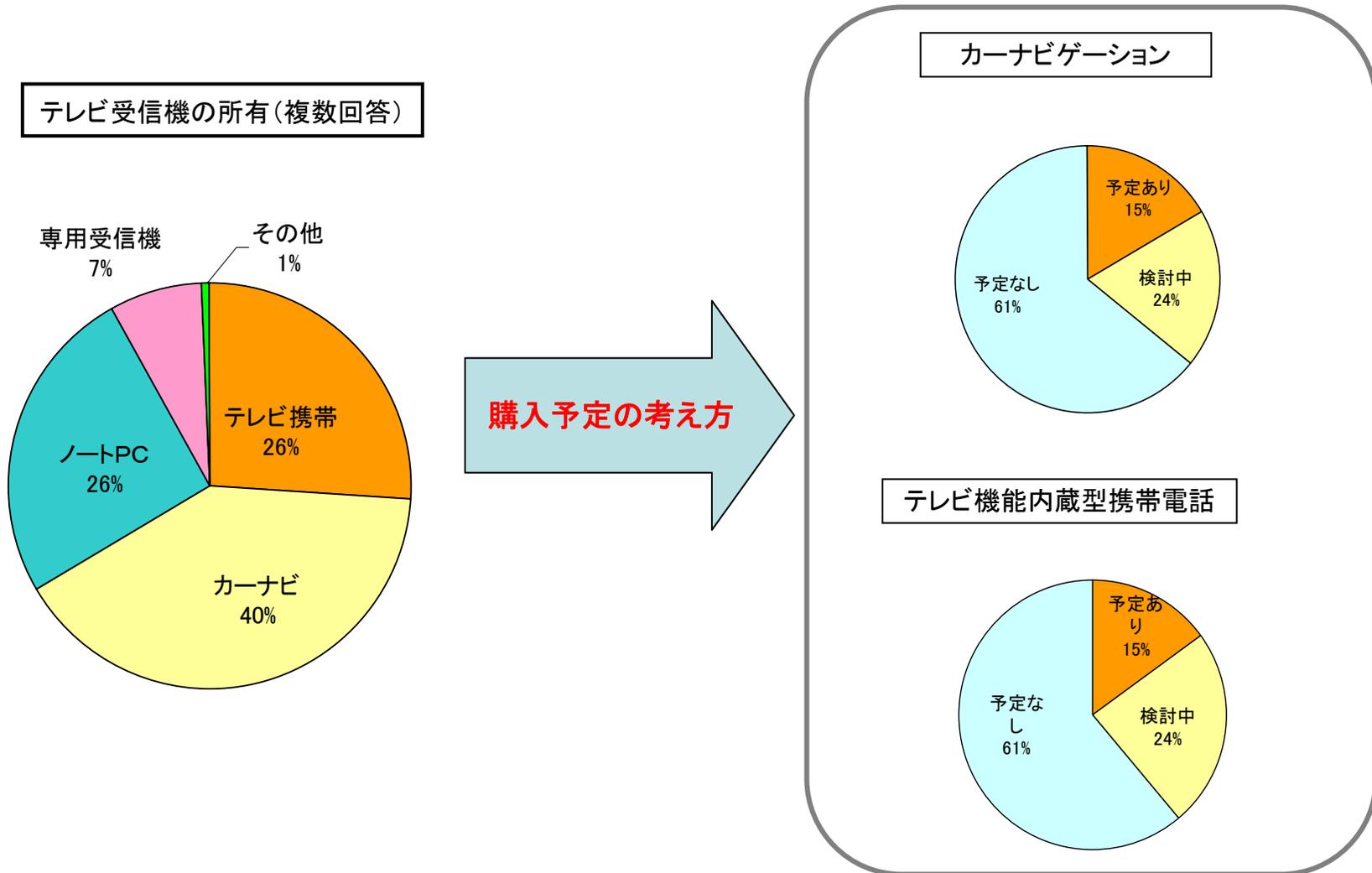
## (4) 地上デジタル放送の電波がケーブルテレビの加入に影響することについて(地方公共団体)

「ケーブルテレビの加入に影響がでない方法がよい」の回答が富山県に多く、「ケーブルテレビの加入者が少なくなっても止むを得ない」の回答が石川県に多い。福井県では、いずれの回答についても平均しており、それぞれの県別の特徴がでている。理由としてはCATV網の充実度の違い、CATV事業の運営状況の違いなどが推測できる。



## (5) 移動受信が可能なテレビ受信機の所有と購入予定について(一般視聴者)

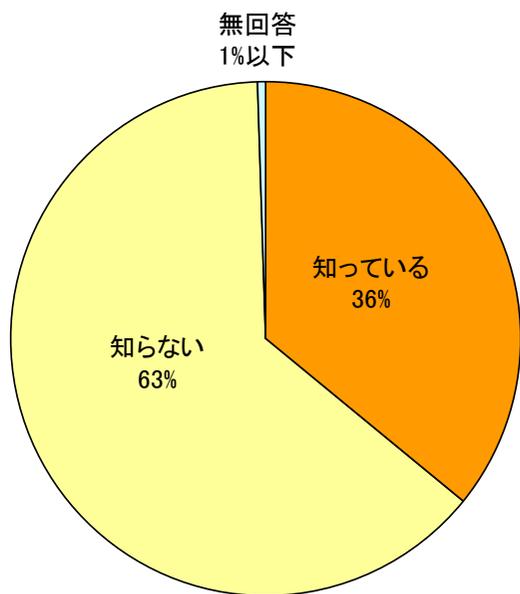
移動しながら視聴が可能なテレビ受信機の所有者は、「カーナビ」「携帯電話」「ノート型パソコン」が多い。今後の購入予定では、「カーナビ」がもっとも多く、購入を検討中は「携帯電話」が多い。



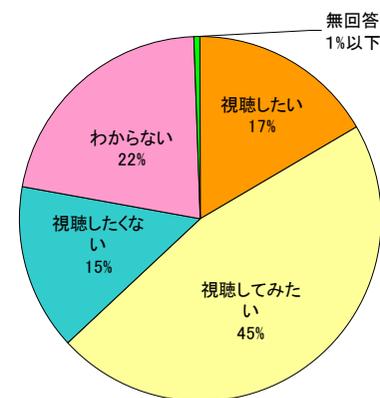
## (6)ワンセグ独自番組の認知度と視聴希望について(一般視聴者)

将来ワンセグで独自番組が視聴できることを知っている人が36%と多い。これは「多分出来るようになるだろう」とのイメージで回答した人も多かったと推測できる。「視聴したい」「視聴してみたい」が62%と多く、視聴したい独自番組は、「災害関連情報」「地域情報」「娯楽情報」「スポーツ情報」などがあげられている。

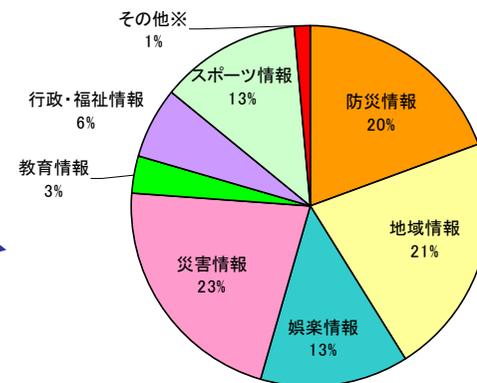
ワンセグ独自番組の認知度



視聴希望(複数回答)



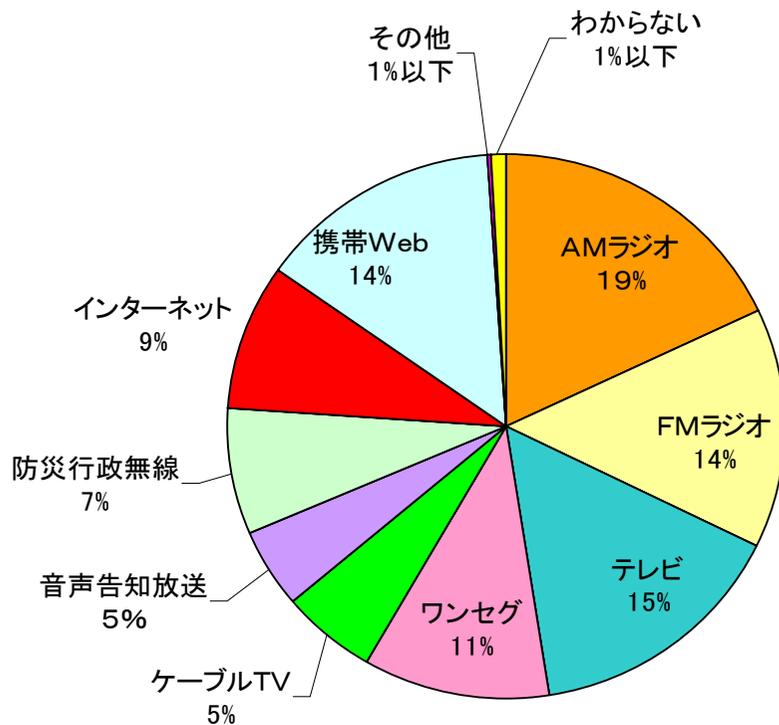
視聴したい番組の内容(複数回答)



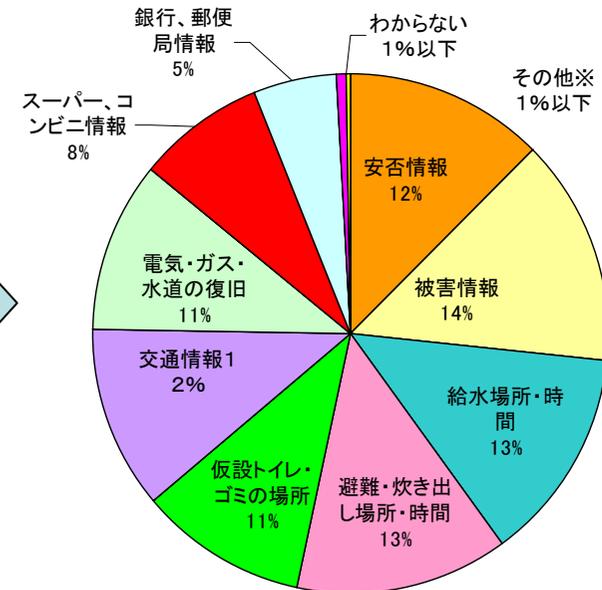
## (7) 災害情報の入手方法と必要な情報ジャンルについて(一般視聴者)

災害情報を知る手段としては、既存の「ラジオ」「テレビ」と回答する人が多いが、新しいメディアの「携帯電話のWebサービス」「ワンセグ」が有効との回答も多い。知りたい情報としては「災害関連情報」「給水情報」「避難場所等の情報」「電気・ガス復旧情報」などの他に、「スーパー・コンビニ情報」の回答も多い。

情報の入手方法(複数回答)



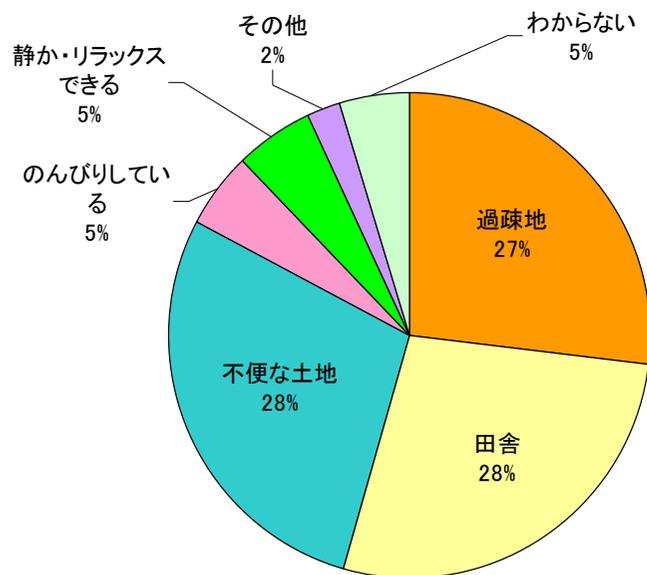
情報の内容(複数回答)



## (8) 電波で地上デジタル放送が受信できない地域へのイメージについて(一般視聴者)

「不便な土地」「田舎」「過疎地」などマイナスイメージで捉えている人が多く、「のんびりしている」「静か・リラックスできる」などプラスイメージで捉えている人は少ない。また、そのような地域に対するイメージとしては、「(観光地へテレビを見に行くわけではないから)特にない」との回答が殆どで、「行きたくない」の回答は少なかった。

地域イメージ(複数回答)



そのような観光地へ

